

第9回分析化学の基本と安全セミナー

主催 (公社) 日本分析化学会

分析化学は、あらゆる分野の基盤を支える技術であり、新素材、地球環境・エコロジー、ライフサイエンス、医薬品、医療、法科学、生活・文化などのさまざまな分野において必要不可欠な学問・技術になっています。そのため、分析によって報告される数値について、高い信頼性が求められるようになってきています。最近の分析装置は、コンピュータが付加され、高機能化がなされていますが、それだけでは信頼性の高い分析値は出ません。信頼性の高い分析を行うには、分析化学を扱う技術者の知識と技術が備わることと、安全な作業環境や安全な操作管理がなされることが重要なこととなります。

本セミナーは、分析化学の全般にわたる共通的な事項の再確認を行い、安全で信頼性高い分析が行える「分析化学の基本に立ち返って学ぶセミナー」になっています。分析化学の基本技術の習得と、“ヒヤリハット”や事故を無くすための作業環境の安全について学びたい方、もう一度学び直したい方は、この機会に奮ってご参加ください。

日時 2020年2月6日(木) 9時40分～16時50分

会場 飯田橋レインボービル1階C・D会議室〔〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町11番地、交通：JR 総武線飯田橋駅西口または、地下鉄有楽町線・南北線・東西線・大江戸線飯田橋駅の神楽坂下 B3 出口より徒歩約5分〕

対象者 現場で分析実務を担当している初級技術者及び「分析化学の基本」を習得しようとする者。

目的 分析化学の基本的技術の習得と向上に向けての教育。

受講申込締切 2020年1月21日(火)(必着)

募集定員 60名(先着順で受け付けし、定員に達ししだい締め切ります)

【講習内容】 (講習時間及び講義順は、変更する場合があります)

1. (09:40～10:35) 溶液の基礎(千葉大学) 小熊幸一
2. (10:40～11:30) 試薬の利用と管理(島津総合サービス) 宮下文秀
3. (11:30～12:00) 純水の利用と管理(オルガノ) 江川 暁
4. (12:45～13:35) 準備作業; 希釈と洗浄(ジーエルサイエンス) 米谷 明
5. (13:40～14:30) 検量線の作成と検出限界・定量下限値(イアス) 一之瀬達也
6. (14:45～15:35) 安全な作業環境(パーキンエルマージャパン) 敷野 修
7. (15:40～16:30) 分析の品質保証(実行委員長・東京都市大学) 平井昭司
8. (16:30～16:50) 質疑応答

受講料 日本分析化学会会員(個人・団体会員) 24,000円, 会員外 36,000円(税込み)

※団体会員の特別・公益会員は1名のみ会員扱いとします。維持会員の事業所は複数名受講でも会員扱いとします。

受講証の発行 受講者には「分析化学の基本と安全セミナー」を受講し、講習を受けたことの受講証を日本分析化学会から発行します。なお、受講証はセミナー終了時にお渡しする予定です。

受講申込方法 日本分析化学会ホームページの「行事及び学会の事業」→「分析化学会の事業」→「講習会・セミナー」ページの「分析化学の基本と安全セミナー」にある「受講申込書」をダウンロードしてください。以下の項目をご記入のうえ、E-mail に添付してお申し込みください。(1)「第9回分析化学の基本と安全セミナー」と題記し、(2) 受講者氏名、(3) 氏名ふりがな、(4) 年齢、(5) 勤務先、職名、(6) 連絡先(所属、所在地、郵便・電話・FAX 番号、E-mail)、(7) 会員、会員外の別(本会会員の場合は会員番号を必ず記入)、(11) 受講料送金額を明記のうえ、お送りください。なお、(8)～(10) 及び(12) の項目は記入不要です。会場地図等の最終案内は会期の一週間前頃に E-mail にてお送りします。電話での申し込みは受け付けません。なお、(2) (5) は受講証発行にも使用いたしますので、正確にご記入ください。

送金方法 受講申込到着後、ご希望の方には請求書を送りますので、指定口座に受講料を1月29日(水)までにお振り込みください。振込手数料は貴方でご負担ください。なお、受講料の返金はいたしませんのであらかじめご了承ください。

申込・問合先 〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ 304 号 日本分析化学会 分析化学の基本と安全セミナー係 [電話: 03-3490-3351, FAX: 03-3490-3572, E-mail: koms@jsac.or.jp]